

-
1. 平成28年度アドバイザー派遣事業にご協力ください
 2. 29年4月から総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）が始まります
 3. 防犯補助／地域共生ステーション開設補助について
 4. 協議体の第1層、第2層の構成員への積極参加を!!
 5. ブロック・事務局より・イベント情報
-

1. 平成28年度アドバイザー派遣事業にご協力ください!!

今年度も、佐賀県内の地域共生ステーション登録事業所に、地域共生ステーションアドバイザー事業として訪問致します。佐賀県と連絡会と協働し、約200ある県内の地域共生ステーションのうちの数か所に訪問し、各事業所の現状の確認、課題の把握や聞き取り相談、情報交換などから、今後の取り組みを推進していくことが主な趣旨になります。

佐賀県福祉課からご連絡が入った事業所様におかれましては、日時調整等のご協力をお願い致します。アドバイザーとしてブロック担当の世話人等が同行させていただいています。また、ブロック世話人の方で個別に訪問された事業所がありましたら、事務局までご連絡ください。

皆々様のご協力をお願い致します。

2. 29年4月から総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）が始まります。

これまでの介護予防通所介護・介護予防訪問介護は、29年4月から総合事業に位置づけられます。何が変わるかということ、今の介護予防の通所と訪問が「みなし」で移行するだけなので大きく変わることはありませんが、各市町では総合事業でいう「多様な生活支援サービス」が今後地域に創られていくよう「協議体」の設立や住民説明などがはじまっています。

市町によって取り組みが一律ではありませんので、いっぺんに広がることはありませんが時間をかけて着実に軽度者の支援を総合事業に移行していくことは目的になっていますので、地域共生ステーションの皆様は、是非今からでも積極的に勉強し、その用意をされていくことをお勧めします。また、市町で行われてきた一次予防事業や二次予防事業などは、総合事業に移行するので軽度者を支える予防事業に参画するため、委託などの形でお引き受けされるのも一つの準備になると思います。

佐賀県の地域共生ステーションの理念は、総合事業の取り組みに合致しています。専門性や中重度への備えと同時に、軽度者を支える「多様な生活支援サービス」に是非参画ください。

3. 防犯補助／地域共生ステーション開設補助

障害福祉や介護保険の防犯対策に関する補助が、佐賀県や市町から通知されていますが、地域共生ステーション対応の防犯補助が検討されています。12月前後には通知されると思いますので、気になる防犯上の設備の点検等をお勧めいたします。

地域共生ステーション開設補助については、地域住民等との交流機能が高められる内容になると思われます。予防事業と地域交流はこれからの介護施設の必須機能になるかもしれませんので是非関心をお寄せください。補助事業について決まりましたら連絡会からもお知らせいたします。

4. 「協議体」第1層、第2層協議体への積極参加を!!

総合事業を後押しする「生活支援体制整備事業」が始まっています。社会資源を創ったり、ネットワークを構築し住民福祉を後押しする生活支援コーディネーターも選出されてきています。協議体は、各々の地域の福祉サービスや生活支援サービスをつくる要になります。NPOは協議体構成員になっていますので、関心のある方は市町の協議体に参加されてみてはいかがでしょうか。

5. 各ブロックから・事務局より・イベント情報

中部ブロック（佐賀市・小城市・多久市・江北町・大町町）

■10月11日(火) 佐賀県地域共生ステーション佐賀中部ブロック会議が開催されました。

おあしす、ささえあい諸富、ライフアメニティー、長楽苑、かれん、福祉杏林会、宅老よりあいひまわりの会、ふくしの家の8団体が集まり、現状や課題などについて情報共有を行いました。会場となった、宅老所あんずの郷城内の皆様、真にありがとうございました。

■おあしす地域共生ホームあいあい共催で「中部地区地域交流イベント」予定 **3月予定**

■12月 忘年会予定（日程場所未定）

西部ブロック（武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町）

■地域共生ステーション西部地区地域交流イベント大盛況でした!!

平成28年10月18日(火) 9時~13頃まで(半日)、コミュニティーセンター「かんらん」(鹿島市大字高津原1647-2) 研修会「学ぼう!!総合事業の動向」と題し、杵藤地区広域市町村組合介護保険事務所課長補佐の津山光朗氏からの講演、介護予防でいきいき暮らそう!!では、お手玉の会理事長中島るり子様、笑って笑ってストレス解消、美空ふくらずめ様(コロッケさんの実姉)によるレクレーション等、大盛況のうち幕を閉じました。講話では50名、レクレーションでは120名ほどの参加でした。昼食では、伊万里牛カレーライスに参加者にふるまい交流を兼ねた食事会が催されています。地域交流と住民福祉向上のこうした企画の必要性を、再認識できる企画となりました。

■西部ブロック（嬉野・鹿島・太良）地域共生ステーション連絡会研修

日時：平成28年11月18日(水) 19時~21時

場所：鹿島交流ぷらざ 内容：「移動介助」

※皆さんふるってご参加ください！！ 研修担当：ひなた・ゆたたり

北部ブロック (唐津市・伊万里市・有田町)

■唐津地区で忘年会を企画（日時は未定、ピザ屋さん貸切?かもということです）

■1月19日（木） 新年会&勉強会の予定

東部ブロック (神崎市・吉野ヶ里町・上峰町・鳥栖市・基山町)

■宅老ちよだひまわりの会 あらこの家で地域イベント開催 参加者 30名

あらこの家は千代田町東部にある地域の居場所です。共生イベントを前回行いましたが、今回は自主イベントで、地域の方が30名参加されました。気軽に通える地域の通いの場として、総合事業のモデルになりそうな取り組みです。

■鳥栖地区を中心に、鳥栖地区地域共生交流イベント予定 ※未定

※各地区での、地域共生交流イベント開催につきましては事務局と調整をはかりながら、開催日時、内容等つくっていきましょう。

事務局より

●地域医療介護総合確保基金(介護分)に係る事業提案しています。

世話人会で、上記基金についての勉強会を実施しましたが、新しい総合事業に係る生活支援の担い手確保に係る研修(地域支え合い担い手養成研修)を連絡会事業として、佐賀県に提案しています。採択されるかどうかは未定ですが、動きがありましたらご報告いたします。

●「たすけあい基金推進研究会」を実施しました。

世話人会の企画として、10月25日（火）13:30から、公益財団法人さわやか福祉財団助けあい基金推進チームリーダーの石川隆司氏、佐賀未来創造基金の山田健一郎氏を講師として「たすけあい基金推進研究会（勉強会）」を開催しました。地域づくりのための基金づくりは、地域福祉推進のためにもこれから重要になっていきます。また深めていきましょう。

●12月20日（火）13:30～15:30

佐賀県地域共生ステーション連絡会世話人会です。万章繰り合せの上ご出席お願い致します。

●28年度会員更新状況

今年度より、会費を年5,000円／1法人、と改定しました。会費の納入がお済でないところはお早目にお問い合わせ致します。未納の団体様にはご案内致しますのでお願い致します。

●認定NPO法人市民福祉団体全国協議会のグループ会員になりました。

連絡会で市民協の会員になりましたので、連絡会から随時市民共のMMニュースも配信します。

●会員様の共生や地域づくりの取り組みをお寄せください。

●国土交通大臣認定 福祉有償運送（セダン含む）講習会開催！！

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービスをはじめませんか！！

第38回移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）を12月10日、11日（土日）の両日、さが福祉移動サービスネットワークにて開催いたします。デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく上でも受講をお勧めしています。「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

総合事業においても移動支援である「訪問D」をどう位置付けるか今後大きなテーマになります。移動サービスの理解を深めていきましょう。

●事故にはくれぐれもご注意ください。

デイサービス事業所で、内部研修で安全運転講習を企画される場合は、ご連絡ください。

●書籍販売（総合事業への取組の参考テキストにどうぞ）

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル3「居場所・サロンづくり」

公益財団法人さわやか福祉財団 編 1,200円

※入荷しました。あと6冊あります。

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル6「移動・外出支援」

特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク 編 1,200円

※入荷しました。

◆私たちが描く新地域支援事業の姿～地域で助け合いを広める鍵と方策～

※入荷してませんが、購入の方はご連絡ください。

●佐賀県CSO支援自販機を設置しています

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、佐賀県と協働し「佐賀県CSO支援自販機」を、コココーラウエスト様及び西日本ビバレッジ様のご支援により下記に設置しております。

★コココーラウエスト様自販機 アバンセ1F

★西日本ビバレッジ様自販機 九州シンクロトロン光研究センター2F交流センター

CSO支援飲料水等の購入による売上の一部を自販機設置事業者がCSOに寄付する自販機のこと、連絡会の活動資金に活用させていただいています。社会貢献活動や寄附文化意識の向上にも寄与するものです。施設をご利用の際はCSO自販機をご利用ください。

「コココーラ・ウエスト様」「西日本ビバレッジ様」ご支援誠に有難うございます。

イベント情報

●11月17日（木）13:30～15:00 佐賀市在宅医療・介護連携推進事業 市民公開講座

「最後まで、地域で暮らせる、まちづくり」

～地域包括ケアシステムと医療・介護の連携 入場無料 メートプラザ多目的ホール

講師：東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 辻 哲夫 氏

- 11月19日（土）10:00～16:00 さが介護・健康・福祉フェスタ 2016 ゆめぷらっと小城
記念講演会 演題「妻として、女優として、夫・大島渚と過ごした日々」
講師：小山明子氏 その他イベント多数

- 12月13日（火）13:30～16:30 訪問型サービスDは使えるか
「移動・外出を、多様な生活支援サービスで推進するセミナーin 大分」
ホルトホール大分 2F サテライトキャンパス講義室
主催：全国移動サービスネットワーク（さが移動ネット 0952-36-6865 ふくしの家まで）

考察

29年4月 地域づくりの制度（介護予防・日常生活支援総合事業）がはじまります

いま大きな変化を迎えています。それは高齢化や人口減など、私たちを取り巻く外部環境が大きく変化していることが要因となっています。業界の多くの事業者もこの変化にどう対応し、どう緩和するか真剣に考えなければならない帰路であることは確かです。

最も大きく変化していくのは「介護保険」ですが、専門や中重度にシフトする流れは止まらないでしょう。事業者もこれに対応しなければなりません。軽度者（要支援1～要介護2）は、市町村事業にシフトされる動きが進んでいきます。

発想を変えなければなりません。社会全体を制度で支えるという大風呂敷はここに来て「実現しません」と国も暗に言ってきています。いまさら市町村に責任を転嫁すると受け取られても仕方ないような、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」が静かにはじまりましたが、どうすればいいのかわからない状況が続いています。国の制度ですから、突然変わるのも無理はないにしても、「社会で支える」という言葉に、事業者も行政も住民も安心し任せてきた結果であり、「地域で支える」という発想が抜け落ちていたことは大いに反省すべき点です。

他県のある過疎化の進む市におじゃましたとき、ある住民の方は「介護保険は一切使っていない。保険料は毎月8千円払っている、介護保険はどうなっとるんじゃ！」と。そこは住民を上げて支え合いの地域づくりをしていかなければ、まったなしの深刻な地域でしたが、全国でも保険料の高騰だけでなく「要介護認定受けてサービスなし」という地域も各地に生まれていくことがすでに危惧されています。

「地域の実情に応じて」というのが新しい地域支援事業の考え方です。そこそこの地域に応じた地域設計で、ミニ介護保険を創るような話ですが、住民も民間も行政も、そこにある社会資源を総動員する姿勢が必要になることは、まったなしで取り組みが始まっている先進地の事例から今後浮彫になると思います。どちらにしろ各市町で介護予防と生活支援のある地域づくりに早く取り組んでいかなければなりません。

～地域福祉推進拠点のネットワーク～

佐賀県地域共生ステーション連絡会

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニービル3F）
認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL : 0 9 5 2 - 3 6 - 6 8 6 5 FAX : 0 9 5 2 - 3 6 - 6 8 9 5

メール : fukusinoie@world.ocn.ne.jp

ホームページ <http://sachikyoren.com>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。